

## 明治期日欧言語交流史の一研究

—— 箱田保顕纂訳『訂訳大全英和辞書』における訳語収載状況をめぐって ——

坂 本 浩 一

### はじめに

いわゆる明治期第二期英学書刊行ブームにおいては、第一期に比して小規模対訳辞書（或は語彙集とでも称すべきものも含む）の刊行が目立つ<sup>(注1)</sup>。稿者はかつて明治17年に刊行された『英語節用集』を取り上げ、該書が『哲学字彙』を活用して編纂された内情について分析を加えたことがあった<sup>(注2)</sup>。

結果として『英語節用集』においては、依拠資料『哲学字彙』に象徴される学術専門性の要素と節用集の称呼にふさわしい平易通用性の要素とが折衷することが見てとれた。その後、当代の小規模対訳辞書群を中心とした調査分析を重ねてきたが、『英語節用集』に収載された対訳語彙は存外に他の資料で採用されていないことも多く見受けられた。『英語節用集』の中に作られた語彙世界は一種孤立的な印象を抱かせることとなっていたのである。

今回調査対象とする『訂訳大全英和辞書』は、『英語節用集』の翌年明治18年に刊行されたものであり、その訳語の収載状況について分析することは、専門性と通用性の両要素が複合した小規模対訳辞書の刊行現象の中で『英語節用集』的訳語語彙世界がどう展開していたかを検証することにつながる。ひいては、以降の対訳辞書資料の語彙資料としての性質を窺う上で有用な情報を確認できるものと考えるのである。

## 1 調査対象資料

### 1-1 『訂訳大全英和辞書』の成立

国立国会図書館近代デジタルライブラリーには明治18年に刊行された対訳辞書として次の三本の画像資料が公開されている。

- (A)『訂訳増補大全英和辞書』明治18年8月免許 同9月出版
- (B)『訂訳増補大全英和辞書』明治18年9月免許 同10月出版
- (C)『訂訳大全英和辞書』明治18年9月免許(後回) 同11月出版

いずれも編者として箱田保顕の名が記されており、また (A)・(B)・(C) ともに出版人は東京の伊藤岩次郎であるが、奥付に示される発兌所としては (A) が東京の日報社のみであったものが (B) では日報社にさらに大阪の柳原喜兵衛が付け加わったものとなっている<sup>(注3)</sup>。

国会図書館本 (A) は304頁(「Inexpert」項)までで終わりすぐに奥付頁となっており、分量的に二分冊構成の第一分冊相当であったようだ。国会図書館本 (C) の奥付に「明治十八年九月廿五日版權免許(後回) 同年十一月七日合本御届(合本)」と記述があることから、(A)→(B) 間には本来二分冊だったものが何らかの事情で合本形態に変更しての販売へと変更されたものらしい。ただし書名に冠せられた「訂訳」と「訂訳増補」の有様から成立自体は (C) の合本が (A)・(B) に先行していたことを考え得るが、三本内部についての精査を経ていない現時点では詳細は不明である。

今後 (A)・(B) と (C) の対照調査を行う予定ではあるが、ひとまず今回の調査においては (C)『訂訳大全英和辞書』を対象とした基礎的なデータ作りとその分析に専念したい。なお、編者：箱田保顕、出版人：伊藤岩次郎、発兌：柳原喜兵衛の組み合わせはこのあと明治19年にも『英語挿入諸国道中独案内』なる小刊行物も成すなど、この時期親密に活動した出版集団であったと見られる。

### 1-2 『訂訳大全英和辞書』の構成

さて、『訂訳大全英和辞書』の内部構成は次のとおりである。

英題：「ENGLISH - JAPANESE PRONOUNCING DICTIONARY」

題辞 ※中村正直による漢文。

音基調表 ※「母音」・「子音」に分けて示す。

- 略語之解 ※品詞表示等の略表記一覧。  
 本文 ※680頁。約5万余の項目を収める。  
 不規則動詞表 ※「廃語」・「俗語」に関わるものに注記を付すなど。  
 略語解 ※英語の略語表記語形について原語形・訳語を付して示す。  
 象形記号之解 ※「数字」・「数学記号」・「商用記号」・「薬局秤量」・「語学記号」に分けて示す。  
 貨幣度量衡表 ※「英吉利」・「北米利堅合衆国」とを分けて示す。

英題に「PRONOUNCING」とあり、「音基調表」として英語の母音・子音音素について補助符号等を用いた表記例と具体的な英語語例が示される。これら音声会話にも役立つ工夫は当代の中型・大型英和辞書によく採用されるものである。その他の付録類にしても概ねよく見られるものであり、英語学習者を購読層とする商品として着実に当代の事情に即した対応をとった仕立てであると言える。

この『訂訳大全英和辞書』の内容に対して、国会本(B)には2頁分の編者「諸言」が付されるところは大いに着目できるが、その吟味も含めて『訂訳増補大全英和辞書』の調査については次の機会に譲りたい。

## 2 調査方法

『英語節用集』中に掲出された二字漢字表記語見出しに対応する英語見出し語形477項目について、『訂訳大全英和辞書』における掲出状況を調べた。まずは英語見出しとしての立項の有無、そして立項項目については掲出訳語中に当該の二字漢字表記語の収載の有無、これらについて以下のデータにおいては当該漢字表記語を挙げるものを「○」、英語見出し項目として掲げるものの訳語記述中に当該漢字表記語を欠くものを「△」、英語見出しそのものが項目として立てられていないものを「－」として示している<sup>(注4)</sup>。

## 3 『訂訳大全英和辞書』における調査結果データの概要

今回の調査対象資料『訂訳大全英和辞書』と『英語節用集』との照合データの他に、第一次英学書ブーム期の明治6年刊『英和掌中字典』のデータを取り上げる。また第二次英学書ブーム期から中国系対訳辞書資料である明治

14年刊『華英字典』、国内系対訳辞書資料として明治17年刊『英和袖珍字彙』、明治18年刊『新撰初学英和辞書』、明治18年刊『写真石版附音挿図英和字彙』、明治20年刊『英和小字彙』各々のデータを取り上げて比較する。第二次ブーム期の資料を多く示すのは、『訂訳大全英和辞書』を中心としてとりわけ明治17～18年当時の資料の動向をより広く見渡すためである。

これらに加え、和－外対訳辞書資料としてここでは明治20年代集成的大型対訳辞書資料である明治21年刊『漢英対照いろは辞典』、明治22～25年刊『漢語英訳辞典』のデータも交え、さらに現代の国語辞書資料から平成24年刊『岩波国語辞典 7 版』のデータもあわせて示すこととする<sup>(注5)</sup>。

結果は次の表 1 となる。

### 3－1 【○】型について

表 1 より、まず【○】型すなわち『英語節用集』との訳語一致型であるが、『訂訳大全英和辞書』の44.2%が英和辞書群において最も高い値となっていることが目を引く。

表中のこの型では『華英字典』が14.5%と極端に低いが、これは中国系辞書を基盤としていることで中国語圏の訳語の影響が多かったからと見られる。それを除けば、第一次英学書ブーム期『英和掌中字典』が21.0%と低い値を示す。これは、やはり明治初期と時期的に早いことで訳語収載の内容が第2次ブーム期とは幾分異なっていたためであろう。

一方で第二次英学書ブーム期に入ってから動きはと言えば、『英和袖珍字彙』が27.0%と数値を上げるものの、『新撰初学英和辞書』30.2%、『写真石版附音挿図英和字彙』33.3%、『英和小字彙』30.2%と30%を幾分上回ったあたりに留まる。やはり、『訂訳大全英和辞書』の数値はこれらに比して抜き出ているといった感が強い。

このことは、『英語節用集』そのものを参照したか或いは『英語節用集』編者が利用した資料と同じ内容のものを参照した可能性があることを示唆する。『英語節用集』「宗哲」部以外の7部すべてにおける『訂訳大全英和辞書』の訳語掲出状況を以下に示す<sup>(注6)</sup>。

#### 3－1－1 「学術」部【○】型

科学 /Science [3/3] 化学 /Chemistry ← Chemistory \* [1/1] 数学 /

表 1

		「英語節用集」所収部名	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	計
「英語節用集」 明 17		各所収部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
		上記各項目数の全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
		各所収部内の二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
		上記二字漢字表記語の当該所収部内における比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
第一次英学書ブーム期 「英和掌中字典」明 6		対応する〔○型〕項目数	1	5	65	15	6	2	3	3	100
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	62.5%	26.0%	23.1%	10.9%	2.8%	21.4%	30.0%	21.0%
		対応する〔△型〕項目数	0	3	141	35	27	54	8	4	275
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	37.5%	56.4%	53.8%	49.1%	75.0%	57.1%	40.0%	57.7%
		対応する〔一型〕項目数	2	0	44	15	22	16	3	3	102
		対応する〔一型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	17.6%	23.1%	40.0%	22.2%	21.4%	30.0%	21.4%
		対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
第二次英学書ブーム期 「華英字典」明 14 「英和袖珍字典」明 17 「新撰初学英和辞書」明 18	「華英字典」明 14	対応する〔○型〕項目数	1	5	35	13	5	6	2	2	69
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	62.5%	14.0%	20.0%	9.1%	8.3%	14.3%	20.0%	14.5%
		対応する〔△型〕項目数	0	2	151	37	21	40	9	4	264
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	25.0%	60.4%	56.9%	38.2%	55.6%	64.3%	40.0%	55.3%
		対応する〔一型〕項目数	2	1	64	15	29	26	3	4	144
		対応する〔一型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	12.5%	25.6%	23.1%	52.7%	36.1%	21.4%	40.0%	30.2%
		対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	「英和袖珍字典」明 17	対応する〔○型〕項目数	1	5	79	19	14	4	4	3	129
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	62.5%	31.6%	29.2%	25.5%	5.6%	28.6%	30.0%	27.0%
		対応する〔△型〕項目数	0	3	131	34	24	54	7	4	257
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	37.5%	52.4%	52.3%	43.6%	75.0%	50.0%	40.0%	53.9%
		対応する〔一型〕項目数	2	0	40	12	17	14	3	3	91
		対応する〔一型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	16.0%	18.5%	30.9%	19.4%	21.4%	30.0%	19.1%
		対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	「新撰初学英和辞書」明 18	対応する〔○型〕項目数	0	7	74	19	13	19	7	5	144
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	87.5%	29.6%	29.2%	23.6%	26.4%	50.0%	50.0%	30.2%
		対応する〔△型〕項目数	0	0	121	28	16	37	3	2	207
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	48.4%	43.1%	29.1%	51.4%	21.4%	20.0%	43.4%
		対応する〔一型〕項目数	3	1	55	18	26	16	4	3	126
		対応する〔一型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	12.5%	22.0%	27.7%	47.3%	22.2%	28.6%	30.0%	26.4%
		対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477

		【英語節用集】所収部名	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	計
第二次英学書ブーム期	写真石版附音補図英和字彙「明18」	対応する〔○型〕項目数	0	6	84	25	18	17	6	3	159
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	75.0%	33.6%	38.5%	32.7%	23.6%	42.9%	30.0%	33.3%
		対応する〔△型〕項目数	1	2	134	29	20	46	7	6	245
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	53.6%	44.6%	36.4%	63.9%	50.0%	60.0%	51.4%
		対応する〔一型〕項目数	2	0	32	11	17	9	1	1	73
		対応する〔一型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	12.8%	16.9%	30.9%	12.5%	7.1%	10.0%	15.3%
		対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
		対応する〔○型〕項目数	0	7	133	20	11	29	6	5	211
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	87.5%	53.2%	30.8%	20.0%	40.3%	42.9%	50.0%	44.2%
		対応する〔△型〕項目数	0	1	93	33	21	33	6	4	191
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	37.2%	50.8%	38.2%	45.8%	42.9%	40.0%	40.0%
		対応する〔一型〕項目数	3	0	24	12	23	10	2	1	75
		対応する〔一型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	0.0%	9.6%	18.5%	41.8%	13.9%	14.3%	10.0%	15.7%
		対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	「英和小字彙」明20	対応する〔○型〕項目数	0	7	73	20	12	20	6	6	144
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	87.5%	29.2%	30.8%	21.8%	27.8%	42.9%	60.0%	30.2%
		対応する〔△型〕項目数	0	0	121	27	17	37	4	2	208
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	48.4%	41.5%	30.9%	51.4%	28.6%	20.0%	43.6%
		対応する〔一型〕項目数	3	1	56	18	26	15	4	2	125
		対応する〔一型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	12.5%	22.4%	27.7%	47.3%	20.8%	28.6%	20.0%	26.2%
		対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
		対応する立項〔○型〕項目数	2	6	194	52	45	54	10	9	372
明治20年代大型集成的対訳辞書	「漢英対照いろは辞典」明21	対応する立項〔○型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	75.0%	77.6%	80.0%	81.8%	75.0%	71.4%	90.0%	78.0%
		対応する不立項〔一型〕項目数	1	2	56	13	10	18	4	1	105
		対応する不立項〔一型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	22.4%	20.0%	18.2%	25.0%	28.6%	10.0%	22.0%
		対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	「漢語英訳辞典」明22、25	対応する立項〔○型〕項目数	2	6	193	46	41	51	10	10	359
		対応する立項〔○型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	75.0%	77.2%	70.8%	74.5%	70.8%	71.4%	100.0%	75.3%
		対応する不立項〔一型〕項目数	1	2	57	19	14	21	4	0	118
		対応する不立項〔一型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	22.8%	29.2%	25.5%	29.2%	28.6%	0.0%	24.7%
		対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	現代通用辞書	対応する立項〔○型〕項目数	3	8	219	58	40	62	12	10	412
		対応する立項〔○型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	100.0%	87.6%	89.2%	72.7%	86.1%	85.7%	100.0%	86.4%
		対応する不立項〔一型〕項目数	0	0	31	7	15	10	2	0	65
		対応する不立項〔一型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	12.4%	10.8%	27.3%	13.9%	14.3%	0.0%	13.6%
		対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477

Mathematics [1/1] 神学/Theology [1/1] 語学/Philology ← Phylology  
 \* [1/1] 詩学/Poesy [1/1] 文学/Literature [1/2]

「科学」は『訂訳大全英和辞書』において「Science」項目に「学問 理学 科学」と訳語を挙げており末尾での掲出となっているが、他項目においては単独掲出もしくは筆頭掲出ということである。「學術」部全8項目の中7項目までが『新撰初学英和辞書』・『英和小字彙』とともに『訂訳大全英和辞書』で採用されており、英和辞書資料群における訳語としての定着度合が高い語群となっている。明治20年代の和－外対訳辞書資料においては、『漢英対照いろは辞典』で「科学」・「詩学」、『漢語英訳辞典』で「神学」・「詩学」の見出し立項がないことから、これらの中では「詩学」の勢いが比較的弱かったものと考えられる。

### 3-1-2 「宗応」部【O】型

宗教/Religion [3/3] 地獄/Hell [1/3] 私慾/Selfishness [1/1] 真実/Real [2/2] 誘惑/Temptation [2/2] 社会/Society ① [1/3] 克己/Self-denial [1/1] 靈魂/Soul [2/2] 謬信/Superstition [1/2] 信仰/Devotion [4/4] 感覚/Sensation [1/1] 結果/Effect [5/5] 宗徒/Apostle [1/3] 憂愁/Sorrow [2/2] 真理/Truth [1/4] 気力/Vigour [1/1] 方便/Mean [4/4] 禁止/Confinement [1/3] 偽計/Deceit [2/2] 信心/Spirituality [3/4] 性質/Character [4/8] 偏執/Bias [1/3] 信用/Belief [1/2] 異説/Dissent [1/1] 信約/Credit [5/5] 除地/Alloodium [1/1] 讃美/Approbation [1/1] 智慧/Wisdom [1/2] 議論/Debate [1/1] 記憶/Memory [1/1] 題目/Thesis [1/5] 熱心/Zeal [1/2] 不正/Wrong [2/5] 名辞/Term [7/8] 不幸/Unfortunate [1/2] 成効/Result [1/3] 利用/Utility [4/4] 自殺/Suicide [2/2] 門派/System ← Sistem \* [4/4] 浄土/Purgatory [2/2] 空虚/Vacuum [1/1] 洗礼/Baptism [1/1] 預言/Prophecy [1/3] 清浄/Purity [1/3] 神聖/Holiness [1/1] 発明/Invention [1/2] 強欲/Lust [2/3] 改正/Meliority [1/1] 正直/Justness ← Jastness \* [1/3] 民情/Nationality ① [2/3] 怠惰/Neglectedness [1/2] 注意/Attention [2/2] 寺領/Parish [1/1] 説法/Preaching [1/1] 後住(寺ノ)/Provisor [1/1] 客舎/Public-house [1/2] 刑罪/Punishment [1/2] 魔法/Incantation [1/1] 練熟/Masterliness [1/1] 天命/Providence [1/2] 高言/Rant [1/1] 願

望/Requisition [1/1] 廃滅/Ruin [2/3] 自負/Self-confidence [1/1] 狡猾/Cunning [2/2] 独立/Independence [2/2] 改宗/Convert [2/2] 後悔/Contriteness [2/2] 便利/Convenient [1/2] 会議/Convention① [1/2] 永続/Continued [1/2] 争論/Contention [1/3] 一致/Consort [1/4] 嫉妬/Jealousy [1/2] 牢獄/Jail [1/2] 守護/Conservation [1/2] 裁判/Judicature [2/2] 改革/Revolution① [4/4] 進化/Evolution [1/3] 一般/General [1/2] 衰微/Decline [1/2] 理論/Declamation [1/2] 和睦/Concord [1/2] 結合/Coalescence [1/3] 社中/Company [2/6] 出板/Edition [1/1] 音楽/Music [1/1] 編輯/Compilation [2/2] 行状/Comportment [1/1] 内部/Interior [2/2] 遍歴/Extravagated [1/2] 生活/Life [1/2] 骸骨/Skeleton [1/1] 名誉/Honor [1/6] 関係/Consequence [1/4] 戒心/Caution [1/3] 旅行/Travel [1/2] 臆説/Hypothetical [2/2] 教育/Education [1/1] 愛情/Love [4/4] 比較/Compare [1/1] 妄想/Fanciful [1/2] 激因/Stimulus [2/2] 石碑/Monument ← Manumend \* [2/2] 土葬/Catacombs [1/1] 遺物/Relics [2/2] 略説/Summary [1/2] 習慣/Custom① [2/5] 攻撃/Attack [2/2] 堪忍/Abstain [1/2] 抵抗/Resist [1/2] 戦争/Warfare [1/2] 神経/Nerve [1/2] 自由/Liberty [1/2] 才智/Intelligence [1/4] 無形/Spiritual [1/3] 法則/Method [1/4] 道理/Reason [1/6] 一揆/Insurrection [1/2] 世界/World [1/9] 愛情/Inclination [1/2] 殖民/Settler ← Settled [1/1] 支配/Domination [1/1] 混沌/Chaos [1/3] 死骸/Corpse ← Corse \* [1/1] 悔改/Repentance [2/2] 葬礼/Interment [1/2] 慣習/Habit [2/3] 教化/Humanization [1/1] 創造/Creation [1/1] 理想/Ideal [1/1] 降生/Incarnation [3/3] 有情/Sentient [2/2]

対象項目250の中、『訂訳大全英和辞書』では133項目53.2%と半数を超えて収載される。この値は他の英和辞書資料のいずれよりも抜きん出て高く、『訂訳大全英和辞書』編者の収載姿勢を窺う上で非常に興味深い。『英語節用集』編者と共有されていると言って差し支えない編集方針の一端は、例えば次のような例によく表出しているのではないか（下線部が当該対象語形）。

Credit	信用 尊敬 入金ノ覚書 掛売 信約 (商業上)
Term	限 境 熟語 語 時限 約束 名辞 (論法) 開期 (政理学)
Utility	功利 要用 利益 利用 (理財学)
Revolution	革命。顛覆。回転。改革 (政治ノ)



Evolution 進化(生物学) 開方 顕スコト

Incarnation 降生(宗教学)

『英語節用集』では編者諸言に次のようにあった(下線部筆者)。

学者応用ノ術語ノ如キハ之レヲ知ラサル人モ亦タ少ナカラサルヲ信ス 又  
該博万巻ノ書ヲ読ムノ人ト雖モ宗教哲学政党及ヒ之レニ関スル術語ノ衆  
多ナル一之レヲ暗記スルハ至難ノ事タリ 且ツ宗教哲学ノ術語ニシテ  
東西其名ヲ異ニシ其实ヲ同スルモノ、如キ亦頗ル多シ 因テ是等ノ諸名  
詞ヲ纂集シ 一ハ以テ寒村僻邑ノ諸子ノ為ニシ 一ハ以テ已達弁士ノ備  
忘ニ供セント欲シ 間々之ヲ輯録ス

すなわち、浅学の徒に対して學術専門用語を採録するという方針がそこには示されているのであり、それゆえの『哲学字彙』依拠という営為でもあった。

『訂訳大全英和辞書』にも「学者応用ノ術語」といった精神は共有されており、( ) 注記に学問領域名を明示する例が上記のように確認できるのである。或いは、「宗教哲学ノ術語ニシテ東西其名ヲ異ニシ其实ヲ同スルモノ」などへの配慮についても次のように見て取れる。

Catacombs 土葬(羅瑪那波里等ニテ執行フ)

また「Provisor」の訳語に「後住」が掲出されているのは次のようなさまであった。

Provisor 寺ノ住職ノ存命中被任後住

他の英和辞書資料群では「Provisor」の訳語に「後住」を挙げるとことはあまり見られないのであるが、『訂訳大全英和辞書』は『英語節用集』に倣って「後住」を採用しており、両資料の近しさを示唆するところと考える。

### 3-1-3 「人官」部【O】型

巫女/Witch [1/1] 天狗/Cherubim [1/1] 幽霊/Sprite [1/2] 農民/  
Peasant [1/1] 商人/Merchant [1/1] 奴隸/Slave [1/3] 囚人/Prisoner  
[1/1] 長官/President [2/2] 子孫/Offspring [2/5] 元祖/Originator  
[1/2] 医者/Physician ① [1/1] 兄弟/Brother [1/2] 姉妹/Sister [1/1]  
女王/Queen ← Queen \* [1/2] 盲目/Blind [2/4] 諸生/Scholar [2/2]  
博士/Professor [3/3] 悪漢/Wretch [2/2] 坊主/Monastic [1/1] 主  
宰/Ruler [3/4]

これらの中、「Scholar」項目についての『訂訳大全英和辞書』の記述は次

のとおりであった。

Scholar 学者 諸生

このように訳語として「諸生」を引き当てることは他の辞書群において殆ど見られないことである。『訂訳大全英和辞書』編者が、『英語節用集』そのものもしくは『英語節用集』と共通して参照される資料を活用したといった編集事情を示すものではないだろうか。『英語節用集』という資料が意外に影響を及ぼした事例となるならば当代における小型対訳辞書世界の内情を示すものとして大いに興味深い。

『英語節用集』奥付によれば、編者佐野正道は「摂津国西成郡勝間村」の「大阪府平民」ということである。現状で確たる根拠も有さぬところではあるが、『訂訳大全英和辞書』の出版に絡んだ人物として名を連ねている大阪の柳原喜兵衛あたりと何らかの交誼があったのではないかといった想像なども促すように思われる。

### 3-1-4 「政法」部【○】型

国家 /State [3/4] 政府 /Government [2/3] 租税 /Taxation [1/2] 革命 /Revolution ② [1/4] 王国 /Kingdom [1/2] 帝国 /Empire [1/1] 市区 /Municipality [2/2] 民情 /Nationality ② [2/3] 法律 /Law ② [2/4] 商議 /Negotiation [2/2] 命令 /Order ② [3/10]

これら11項目中では、次のとおり（ ）注記を付して専門用語として挙げている訳語が『英語節用集』と同一語形の掲出となっている。

Municipality 市区（法律）

Negotiation 商議スル事（国事盟約和睦交易等ノ事件ヲ）（法律）

Law 律令 法律 法度 律例（法律学）

なお、次の2項目については（ ）注記が直接には当該語形に付されていないのであるが、或いは連続する2語形について辞書紙面の経済からまよめての注記といった意識も窺えるところである。

Government 管理 政府 政体（政治学）

Taxation 租税 収税（理財学）

### 3-1-5 「政応」部【○】型

同盟 /Alliance [4/4] 反情 /Antipathy [3/3] 結合 /Combination [2/3] 約

定/Compact [4/4] 独断/Dogma [2/2] 無罪/Innocence [1/3] 逆説/Paradox ① [1/2] 口実/Pretension [1/3] 預察/Presumption [3/3] 特許/Privilege ← Privilege \* [2/2] 問題/Problem [1/1] 種属/Race ① [5/5] 遁辞/Quibble [2/2] 理由/Rationale ← Rational \* [2/2] 贅言/Redundancy [2/2] 駁撃/Refutation [2/2] 条例/Regulation ② [1/3] 中裁/Reconciliation [1/2] 隠遁/Seclusion [1/2] 自護/Self-defence [1/1] 規則/Rule [1/4] 詭弁/Sophism [2/2] 同情/Sympathy [1/3] 廉節/Temperance [1/3] 定論/Theorem [5/5] 理論/Theory [2/2] 許容/Toleration [1/2] 弁理/Transaction [2/3] 漸化/Variation [1/4]

この項目群で挙げられる漢字表記語は概ね現代通用語形が多いのだが、例えば「反情 種属 中裁 自護 廉節 漸化」については『岩波国語辞典 第7版』では立項されていない。これらの中、20年代の集成的大型辞書『漢語英訳辞典』に立項されている「中裁 廉節」で当代における普及の程が知られるのだが、他の語形は『英語節用集』-『訂訳大全英和辞書』に割合に独自収載された趣がある。対訳辞書界における偏りと世間通用とのはざまで当代動揺を見せるこうした漢字表記語の動向には大いに注意を払う必要がある。

またこの群で専用語注記を有するものは以下のとおりであった。

Race 競馬 走行 行き筋 根 種属 (世態学)

Redundancy 贅言 (論法)

Theorem 処置 法立 趣向 術 定論 (数学)

Variation 漸化 (生物学) 政変 (論法) 変化 語尾ノ変化 (文法ノ語)

最後の Variation には訳語五語形中三語形に「生物学」「論法」「文法ノ語」といった異なる領域が示されており、『訂訳大全英和辞書』が幅広く多様な専門領域に取材した編集方針をよく表すものとして注目できる。

### 3-1-6 「堂処」部〔O〕型

鐘楼/Belfry [1/1] 本寺/Mother-church [1/1] 宮殿/Palace [1/1] 関税/Custom ② [5/5] 銀行/Bank [5/5] 病院/Hospital [1/2]

これらのうち専門用語注記を付すものは次のものであった。

Custom 風儀 習慣 風俗 店商ヒ 関税 (貿易上)

### 3-1-7 「年歴」部〔〇〕型

歴史 /History [1/2] 服従 /Subjection [1/3] 事実 /Fact [2/2] 総計 /  
Totality [1/1] 社会 /Society ② [1/3]

### 3-2 〔△〕型について

#### 3-2-1 「学術」部〔△〕型

哲学 /Philosophy ← Phylosophy \*

Philosophy の訳語として『英語節用集』の「哲学」に対し『訂訳大全英和辞書』では「理学」のみを挙げる。例えば『和英語林集成』では両語形の扱いは次のような具合である。

〔和英の部〕

「理学」項→第Ⅰ版・第Ⅱ版・第Ⅲ版ともになし

※「理学者」項は第Ⅰ版・第Ⅱ版・第Ⅲ版ともに挙げる

「哲学」項→第Ⅰ版・第Ⅱ版になく第Ⅲ版のみ立項する

〔英和の部〕

「Philosophy」項

→第Ⅰ版：Gaku jutsz ri dori michi do

第Ⅱ版：Gaku jutsu ri dori michi do Natural – kiu-ri

第Ⅲ版：Gaku Jutsz Ri dori michi do tetsugaku

Natural – kyurigaku Mental – shinrigaku

上記のとおり関連項目中の記述に編者へボンの採用した訳語語形に「理学」は見られないが、和英の部で明治5年刊の第Ⅱ版にまでは無かった「哲学」が明治19年刊の第Ⅲ版で初めて登録された流れには注目できる。こうした潮流があったにもかかわらず『訂訳大全英和辞書』が新進の語形「哲学」ではなく、「理学」を採用しているのはどういった事情に拠るものかが気になる。

『訂訳大全英和辞書』では親見出し「Philosophy」に「理学」、その熟語項目として「Natural Philosophy 物理学」と記述し、また周辺別項目で「Philosopher 理学者」「Philosopher, Philosopher 理学ノ」「Philosophically 理学ニテ」「Philosophize 理学者ノ様ニ道理ヲ説ク」と連続して立ててあることからすれば、編者箱田保顕なりに一貫した「理学」語形による用語体系を構築していた事情がそこには見てとることができる。

一方では『英語節用集』『和英語林集成』のように「哲学」語形を採用しよ

うとする新しい流れがある中で『訂訳大全英和辞書』がこの部分について同調していないことは、編者の主張を見出せる点としても興味深いのは無論のこと、当時「哲学」が簡単に「Philosophy」の訳語の座に着いたわけではないことも示しており、語彙史上の一局面として貴重な情報を与えてくれるものである。

### 3-2-2 「宗応」部〔△〕型

天堂/Heaven ① 楽園/Paradise ← Paradise \* 偶像/Idol 恭敬/Worship  
 虚忘/Absurd 怒恚/Rage 正義/Justice ① 慈悲/Grace ① 画像/Portrait  
 蘇生/Revive 預知/Prescience ← Precience \* 味趣/Taste 感動/Impression  
 邪執/Prejudice 驕慢/Pride 崇奉/Adulation ← Adration \* 原因/Cause  
 無常/Changeable 道德/Morality 觀念/Idea 虚無/Void 悲痛/Lamentation  
 感応/Feeling ① 術数/Policy ① 布弘/Propagation 施物/Almonry 集  
 会/Assemble 有体/Corporeal 固執/Bigotry 金言/Aphorism 執意/  
 Volition 無碍/Unconditional ← Unconditioneal \* 不朽/Perpetuity 永存/  
 Persistence 憐愍/Pity 教会/Congregation 輪廻/Transmission 昌盛/  
 Prosperity ← Frosperity \* 勳勞/Merit 名目/Name 心痛/Pang 奇遇/  
 Accident 誠信/Faith 驚愕/Wonder 敬謹/Respectful 天真/Natural  
 究竟/Ultimate ← Ultimote \* 定道/Predestination 真如/Reality 上天/  
 Heaven ② 慈悲/Grace ② 解釈/Explanation 絶対/Absolute 奇談/  
 Paradox ② ← Pardo \* 愚痴/Obtuseness 供物/Sacrifice 演説/Speech  
 講談/Lecture ← Pecture \* 差別/Difference 平等/Equality ← Eequality \*  
 歸服/Obedience 心意/Mind 侵入/Invasion ← Invasion \* 外部/Exterior  
 野蛮/Barbaric 公会/Parliament ← Partiamment \* 不能/Impossible 運命/  
 Destiny 單純/Similar 基礎/Founded 推理/Inference 原素/Elements  
 悅服/Obey 餓死/Starve ← Staved \* 驕慢/Self-conceit 拝礼/Supplication  
 ← Spplication \* 文明/Civilization 意思/Will 智覚/Feeling ② 有形/  
 Physical 公平/Conscientiously 名声/Reputation 風俗/Manner 習成/  
 Factitious 全能/Almighty ← Almight \* 天使/Angel 元始/Beginning  
 情緒/Emotion 異教/Gentilism 正教/Orthodox 拝像/Idolatry 天賦/  
 Implanted 非情/Insensible

これらの中、注記を付したものは次のように見られ、学術用語への関心の高さを示している。

Justice	正シサ	神妙ナルコト	公事ノ捌キ	裁判役人(法学)
Taste	風味	試ミ	味覚(心理学)	滋味
Transmission	転移	運送	形質遺伝(生物学)	送遣
Inference	帰着	定説	推理法(論理学)	
Element	基初	元素(物理学)		

また「Supplication」について、『英語節用集』が「拝礼」を対応訳語として掲出したのに対して、『訂訳大全英和辞書』は「祈願 礼拝」と敢えて字順転倒語形を挙げている。この事情については、「Grace」項に「仁恵 徳 能 美 利生 官名 礼拝(食前後ニスル)」と転倒語形「礼拝」に( )注記による説明記述を付して掲出することから、編者が外国文化の儀礼的な色彩を帯びたものと認識して「礼拝」語形を特に採用したことを窺わせる。

『訂訳大全英和辞書』の異文化事情に寄せる関心については「Gentilism ヘイデン宗 図像杯ヲ信心スルコト」といった説明記述部分においてもよく表れていると言える。

### 3-2-3 「人官」部〔△〕型

外道/Heresy 邪蘇/Christ 隠者/Eremit 僧正(邪教ノ)/Bishop 朋党/Party① 信者/Believer 悪魔/Satan 紳士/Gentle-man 平民/Laity 貴族/Noble-man 国民/Nation 兵卒/Soldier 伶人/Musician 詩家/Poet 碩儒/Polymathy 巡査/Police-man 官員/Officer 婦女/Woman 出家/Monk 眷属/Kin 法師/Clerk 両親/Parent 叔父/Uncle 叔母/Aunt 弁者/Eloquent 門徒/Member① 医師/Physician② 歯医/Dentist 教官/Teacher 逸士/Hermit 牧師/Pedagogue ← Pedagogue\* 蕃民/Savageness 審吏/Justice of the peace

これらの中、『訂訳大全英和辞書』において説明注記を伴うものは次のように見られた。

Eremit	隠居ノ人	山林ニ居住シテ木ノ実ヲ食トスル行者
Satan	鬼 魔(経典ノ語)	
Gentle-man	歴々ノ人	重々シキ人 君(男ノ尊称)
Hermit	山林ニ居テ木実ヲ食トスル人	隠者

『訂訳大全英和辞書』では、語レベルにこだわらず句レベルでの記述が割合に見受けられる。対訳辞書世界の幕末明治初期といった初期の段階においては、訳語が成長定着しないうちは句レベルでの説明中心に記述を済ませることも珍しくなかった。例えば、坂本（2013）で取り上げた明治6年刊『英和掌中字典』なども「Apostrophe フイニハナシヲホカノコトニテンズルコトリヤクゴノシルシ」いった具合に概念説明を句で記述する箇所が目立つものであった。『訂訳大全英和辞書』はそうした少し古い要素を残しているようであり、第二次英学書ブーム期に時代は推移していてもなお訳語の成長過程で句レベルの記述に頼る状況が部分的に見られることは注意しておく必要がある。

また、「Justice of the peace」については、次のような記述が『訂訳大全英和辞書』に存した。

Justice of peace 鎮台

「鎮台」は、明治4年から明治21年頃にかけて陸軍に置かれた組織部門であり、『英語節用集』の「審吏」に対して『訂訳大全英和辞書』が日本固有の軍隊用語を採録していることは、両者の編集方針の差異を示すものとして興味深い。

### 3-2-4 「政法」部〔△〕型

権利/Right 法制/Law ① 君政/Monarchy 民政/Democracy 平安/Peace ① 動議/Motion 国政/Polity 憲法/Constitution 管轄/Govern 政法/Policy ② 内閣/Cabinet 布達/Proclamation 広告/Notification 指令/Order ① 規則/Regulation ① 建白/Memorial 請願/Petition 家政/Economics 機制/Mechanism 誤用/Misuse 体制/Organization ← Organization \*

次のものには、『訂訳大全英和辞書』では学術用語としての注記記述が付されている。

Law 律令 法律 法度 律例（法律学）

Democracy 共和政治（政治学）

「Democracy」の『和英語林集成』英和の部における状況は、第Ⅰ版において項目なしであったが、第Ⅱ版では「Kiyokuwa-sei-ji」、第Ⅲ版で「Kyowa-sei-jiminsei」となっている。「共和政治」の音形が変化していることも確認できるが、第Ⅲ版で追加された「民政」が『英語節用集』で採用されていたのに対

して『訂訳大全英和辞書』では収載されていないことに気づく。結局、訳語「民政」は現代では通用国語辞書『岩波国語辞典 第7版』でも立項されず姿を消すことになるのであるが、そうした衰退を『訂訳大全英和辞書』が予感させる様を示していることが注目できる。

### 3-2-5 「政応」部〔△〕型

徒党/Party② 内政/Administ-ration 補任/Appoint-ment 律令/Canon  
要路/Compendium 完全/Complete 連絡/Connection 允許/Consent  
抑制/Control 公会/Convention② 節操/Continen-  
ce 勢力/Energy 虚  
誉/Vain-glory 結局/Goal 教唆/Instigation 正義/Justice② 妄論/  
Paralogism 義気/Patriotism 反逆/Rebellion 服従/Homage 交誼/  
Friendship 平安/Peace② 償還/Payment 堅忍/Perseverance 公準/  
Postu-late 主義/Principle 未決/Problematic 非議/Reproach 会員/  
Member② 撰択/Selection 競争/Struggle① 逆理/Unreasonable←Anrea-  
sonable\* 発動/Act

『訂訳大全英和辞書』中で記述に学術用語注記を有するものは、次のとおりであった。

Justice 正シサ 神妙ナルコト 公事ノ捌キ 裁判役人(法律学)  
Selection 選択 淘汰(生物学)

「Selection」は『英語節用集』が「選択」のみを挙げるのに対し、『訂訳大全英和辞書』が生物学用語と注記指示した上で「淘汰」を採用していることは、専門用語収載に向けた編者の積極性が明確に窺えるところである。

### 3-2-6 「堂処」部〔△〕型

貧院/Alms 首府/Capital 市街/Street 屋宇/Edifice 旅館/Hotel 墓地/Church-yard

### 3-2-7 「年歴」部〔△〕型

年代/Age 闘争/Struggle②←Straggle\* 帰化/Naturalization←Naturali-  
gation\* 人種/Race②

「Naturalization」の『訂訳大全英和辞書』における記述は、動詞項目も合わせて示すと次のとおりであった。



Naturalization 異国人ニ本国ノ法度ヲ教エ国法ニ従ハセルコト

Naturalize 異国人ニ本国ノ法度ヲ教エ馴ラス

『英語節用集』が「帰化」語形を挙げているのに対して、動詞項目においても同様に語レベルでの掲出はなされず、句レベルでの説明記述のみとなっている。『和英語林集成』においては「Naturalization」「Naturalize」ともに第Ⅰ版～第Ⅲ版全て英和の部における立項がなされないが、和英の部では「帰化」は第Ⅰ版～第Ⅲ版各版において項目が立てられている。ただし、対応する英語記述の中に「Naturalization」は見られない代わりに、第Ⅲ版のみ記述部分の最後に「Nationalization」が追加されている。『英語節用集』に何等かの誤認があった可能性もあるが、『訂訳大全英和辞書』に「Nationalization」「Nationalize」ともに見出しそのものがなく、この間の訳語事情については今後さらに他の周辺資料を調べた上で追究したい。

### 3-3 〔-〕型について

この群については語形リストの掲出にとどめる。以下のとおりであった。

#### 3-3-1 「宗哲」部〔-〕型

仏教 /Buddhism 神道 /Shintoism 秘教 /Esotericism

#### 3-3-2 「宗応」部〔-〕型

良心 /Moral sense ← Moralsence \* 現世 /Present-world 涅槃 /Nirvana  
 ← Nivana \* 木像 /Wooden-idol 五官 /Five-senses 悪念 /Evil-thought  
 悪業 /Evil-deed 常住 /Unchangeable 自覚 /Self-consciousness 覚他 /  
 Tolead consciousness of otherselves 自利 /Self-benefit 利他 /Altruism  
 寺法 /Canon-law ← Conon-Law \* 寓言 /Phenakism 瑞夢 /Lucky-dream  
 ← Luchy-dream \* 瑞相 /Lucky-omen ← Luchy-omen \* 楽譜 /Music-book  
 故郷 /Native-place 落涙 /Shed-tear 誘引 /Exticement 精進 /Religious-  
 abstinence ← Religious-abstmnence \* 自滅 /Self-destruction 独学 /Self-  
 educated 虚霊 /Spiritual existence

#### 3-3-3 「人官」部〔-〕型

仏弟 /Buddhist 仏陀 /Buddha 化身 /Avatar 演者 /Speech-man 賢者

/Wise-man 皇族/Royal-family 学者/Learned-man 老人/Oldman 学士/Scientist 聖人/Holy-man 宰相/Prime Minister ← Prim Minister \*  
神仙/Genii

### 3-3-4 「政法」部〔-〕型

政権/Political-right 天権/Natural-right 徳権/Moral-right 法権/Legal-right 民法/Civil-law 刑法/Criminal-law 政法/Political-law 軍律/Martial-law 純権/Absolute-right 行政/Executive-power 立法/Legislative-power 虐政/Cruel-Government 参議/Privy councillor 大輔/Vice-minister 少輔/Assistant vice minister 知府/Governor of department 県令/Governor of province ← Governor of provinc \* 除籍/Denationalization 国法/Municipal-law 法式/Modus 用式/Modus-ponens 廃式/Modus-tollen 性法/Law of nature

### 3-3-5 「政応」部〔-〕型

明許/Express-consent 黙許/Tacit-consent 腕力/Physical-force 全権/Absolute-power 大本/Fundamental-principle 自制/Self-control 自責/Self-reproach 自決/Self-determination 与論/Public-opinion 通理/Universal-truth

### 3-3-6 「堂処」部〔-〕型

仏堂/Budder 薬舗/Apothecary-shop

### 3-3-7 「年歴」部〔-〕型

建国/Nationalization ← Nationali-gation \*

## 4 後代辞書資料『漢語英訳辞典』・『岩波国語辞典 第7版』との対照

前章では『英語節用集』の所収部別に『訂訳大全英和辞書』における訳語掲出状況を検討したが、ここでは『訂訳大全英和辞書』当該漢字表記語を明治20年代集成的大型辞書『漢語英訳辞典』と現代通用辞書『岩波国語辞典 第7版』との三資料間で収載状況を対照させてみたい。つまり、明治10年代後

半第二次英学書ブーム期の小型対訳辞書の訳語が、明治20年代の漢語集成的対訳辞書資料でどういった位置付けにあるのか、また現代日用語としてどれほどの定着を見たのかといった観点から検討してみたい<sup>(注7)</sup>。

まず表2として全体の結果を示す。

表2

	『英語節用集』 所収部名	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	各型 小計	各型内構成 比率(%)	全体内構成 比率(%)
『訂訳大全英和辞書』で (該語掲出型)	[○○○] 型	0	5	108	16	11	19	6	5	170	80.6%	35.6%
	同上型内比率(%)	0.0%	2.9%	63.5%	9.4%	6.5%	11.2%	3.5%	2.9%			
	[○○ー] 型	0	0	6	0	0	2	0	0	8	10.9%	1.7%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%			
	[○ー○] 型	0	2	14	3	0	4	0	0	23	10.9%	4.8%
	同上型内比率(%)	0.0%	8.7%	60.9%	13.0%	0.0%	17.4%	0.0%	0.0%			
	[○ーー] 型	0	0	5	1	0	4	0	0	10	4.7%	2.1%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	50.0%	10.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%			
『訂訳大全英和辞書』で (別語掲出型)	[△○○] 型	0	1	59	21	15	25	3	4	128	67.0%	26.8%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.8%	46.1%	16.4%	11.7%	19.5%	2.3%	3.1%			
	[△○○ー] 型	0	0	4	0	2	1	0	0	7	17.3%	1.5%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%			
	[△ー○] 型	0	0	17	7	2	6	1	0	33	17.3%	6.9%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	51.5%	21.2%	6.1%	18.2%	3.0%	0.0%			
	[△ーー] 型	0	0	13	5	2	1	2	0	23	12.0%	4.8%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	56.5%	21.7%	8.7%	4.3%	8.7%	0.0%			
『訂訳大全英和辞書』で (不立項型)	[△] 型小計	0	1	93	33	21	33	6	4	191	100.0%	40.0%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.5%	48.7%	17.3%	11.0%	17.3%	3.1%	2.1%			
	[-○○] 型	2	0	15	9	12	4	1	1	44	58.7%	9.2%
	同上型内比率(%)	4.5%	0.0%	34.1%	20.5%	27.3%	9.1%	2.3%	2.3%			
	[-○ー] 型	0	0	1	0	1	0	0	0	2	18.7%	0.4%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	[-ー○] 型	1	0	6	2	0	4	1	0	14	18.7%	2.9%
	同上型内比率(%)	7.1%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	28.6%	7.1%	0.0%			
『訂訳大全英和辞書』で (二) 型	[-ーー] 型	0	0	2	1	10	2	0	0	15	20.0%	3.1%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%	66.7%	13.3%	0.0%	0.0%			
	[-] 型小計	3	0	24	12	23	10	2	1	75	100.0%	15.7%
	同上型内比率(%)	4.0%	0.0%	32.0%	16.0%	30.7%	13.3%	2.7%	1.3%			
全体合計		3	8	250	65	55	72	14	10	477	—	100.0%

## 4-1 『訂訳大全英和辞書』で〔○〕型（該語掲出型）である漢字表記語

表2において、〔○〕型は合わせて211項目44.2%と〔△〕型・〔－〕型を上回って最大の勢力となっている。そしてこの型の中では、三資料にともに掲出される〔○○○〕型が8割超を占めており、明治中期から現代に至るまで安定して使われる漢字表記語として展開していると言える。

## 〔○○○〕型

【學術】	科学	化学	数学	語学	文学	【宗応】	宗教	地獄	私慾	真実
	誘惑	社会	克己	靈魂	信仰		結果	宗徒	憂愁	真理
	方便	禁止	性質	偏執	信用		讚美	智慧	議論	題目
	名辞	不幸	利用	自殺	門派		空虛	洗礼	清淨	神聖
	改正	正直	民情	怠惰	注意		寺領	說法	客舍	魔法
	願望	自負	狡猾	独立	改宗		後悔	便利	會議	永続
	嫉妬	守護	裁判	改革	一般		衰微	理論	和睦	結合
	編輯	行状	内部	遍歴	生活		骸骨	名誉	關係	戒心
	教育	愛情	比較	妄想	石碑		遺物	習慣	攻撃	堪忍
	自由	才智	無形	法則	道理		一揆	世界	愛情	支配
	葬礼	慣習	教化	創造	有情	【人官】	天狗	農民	商人	奴隸
	長官	子孫	元祖	医者	兄弟		姉妹	女王	盲目	博士
	【政法】	国家	政府	租税	革命		王国	帝国	市区	民情
	命令	【政応】	同盟	結合	約定		独断	無罪	口実	特許
	理由	贅言	駁撃	条例	隱遁		規則	定論	理論	許容
	鐘楼	本寺	宮殿	関税	銀行		病院	【年歴】	歴史	服従
	社会									事实
										総計

一方で、〔○○－〕型は現代通用の漢字表記語とはなっていないものであるが、この型の中では8項目と最も少ない。『漢語英訳辞典』には収載されたが、その後は勢いが殺がれたことを窺わせている。記臆、中裁といった同音の類似漢字との交替の場合も含まれており、〔○－〕型における成効、出板、種属なども合わせて考えれば〔○〕型で現代通用とならなかったものは実質少数であったと言えよう。

## 〔○○－〕型

【宗応】除地 記臆 刑罪 練熟 悔改 降生 【政応】中裁 廉節

## 〔〇ー〕型

【宗応】謬信 信約 成効 出板 激因 【人官】諸生 【政応】反情 種  
属 自護 漸化

『漢語英訳辞典』に項目としては立てられなかったにもかかわらず『岩波国語辞典』中に立項されている〔〇ー〇〕型については、『漢語英訳辞典』編者がビンズが序言で挙げている参照辞書群を交えて今後動きを追究してみたい。

## 〔〇ー〇〕型

【學術】神学 詩学 【宗応】偽計 信心 不正 預言 強欲 後住 廃  
滅 牢獄 進化 土葬 略説 神経 殖民 理想 【人官】巫女 幽霊  
坊主 【政応】逆説 預察 詭弁 同情

## 4-2 『訂訳大全英和辞書』で〔△〕型（別語掲出型）である漢字表記語

『英語節用集』で掲出された漢字表記語が『訂訳大全英和辞書』では訳語として挙げられなかったものであるが、〔△〕型全体で191項目で全体の4割を占めていた。内訳ではこのうちの7割弱が『漢語英訳辞典』『岩波国語辞典』に収載されている〔△〇〇〕型となっており、『訂訳大全英和辞書』だけが当該語群を採用しなかったという事情が如何なるものであったのかは興味深い。

## 〔△〇〇〕型

【學術】哲学 【宗応】天堂 偶像 恭敬 正義 慈悲 蘇生 感動 驕慢  
原因 道德 觀念 虚無 悲痛 感応 術数 施物 集会 金言 不朽  
憐愍 教会 名目 心痛 奇遇 驚愕 究竟 真如 上天 慈悲 解釈  
絶対 奇談 愚痴 講談 差別 平等 帰服 侵入 外部 野蛮 公会  
単純 基礎 餓死 驕慢 拝礼 文明 意思 有形 公平 名声 風俗  
全能 天使 情緒 異教 正教 天賦 非情 【人官】隠者 僧正 朋党  
信者 紳士 平民 貴族 国民 兵卒 伶人 碩儒 巡查 官員 出家  
眷属 法師 両親 叔父 叔母 門徒 医師 【政法】権利 法制 平安  
国政 憲法 管轄 内閣 布達 広告 指令 規則 建白 請願 家政  
誤用 【政応】徒党 補任 律令 要路 完全 連絡 允許 抑制 公会  
節操 勢力 結局 教唆 正義 義気 反逆 服従 交誼 平安 償還  
堅忍 主義 未決 会員 撰択 【堂処】首府 市街 旅館 【年歴】年  
代 闘争 帰化 人種

ただし、次のように『漢語英訳辞典』『岩波国語辞典』のいずれかが立項し

ていない〔△○ー〕〔△ー○〕の両型を合わせれば40項目となるのであり、『訂訳大全英和辞書』編者による不採用については丁寧に事情を押し量るべきであろう。

#### 〔△○ー〕型

【宗応】昌盛 勳勞 誠信 悦服 【政法】民政 政法 【政応】虚誉

#### 〔△ー○〕型

【宗応】樂園 虚忘 画像 預知 無常 固執 無碍 永存 輪廻 天真  
供物 演説 心意 不能 運命 推理 元始 【人官】外道 悪魔 詩家  
婦女 齒医 教官 牧師 【政法】動議 体制 【政応】内政 公準 非  
議 競争 逆理 発動 【堂処】墓地

気になるのは〔△ーー〕型であるが、これは『英語節用集』の編集作業の結果に対して他資料の内容が沿っていない語群となっており、味趣のような字順転倒語形も含め後代における語勢衰退を『訂訳大全英和辞書』が示唆しているものと映る。

#### 〔△ーー〕型

【宗応】怒恚 味趣 邪執 崇奉 布弘 有体 執意 敬謹 定道 原素  
智覚 習成 拝像 【人官】邪蘇 弁者 逸士 蕃民 審吏 【政法】君  
政 機制 【政応】妄論 【堂処】貧院 屋宇

### 4-3 『訂訳大全英和辞書』で〔ー〕型（不立項型）である漢字表記語

この群は対応する英語見出しそのものが立てられなかったものであり、『訂訳大全英和辞書』では全て合わせて75項目と全体の15%ほどとなっている。

全914項目の小規模語彙集とも呼ぶべき『英語節用集』の採り上げた英語語形が、5万余りの項目を収める『訂訳大全英和辞書』に立てられていないものがこれだけに上ということは意外であるとも言える。

『英語節用集』は『哲学字彙』という当代一級の専門用語対訳辞書を利用する一方、先にも引いた緒言にあるように哲学領域のみならず宗教・政治分野に広く取材しているのだが、その末尾には「頃日遠郷ノ諸友屢書ヲ寄セテ其出版ヲ慫（呉+心）セラルヽヲ以テ 已ムヲ得ス之レカ校閲ヲナシ且ツ各国政体及ヒ宗教ノ統計ヲ付記シ以テ活字ニ付ス 若シ誤謬アラハ幸ニ教示ヲ賜ヘ他日之レヲ改正補刪スヘキ也」といった言を付すなど、その作業は粗く詰めものの甘いものであったことを窺わせてもいる。

しかしながら、一概に『英語節用集』の粗忽さばかりを原因と決めつけることもできない。次のようにこの型の過半を〔－〇〇〕型が占めていることはやはり注目すべきことであり、『訂訳大全英和辞書』側にこの群の漢字表記語を拾い出しきれていないことに問題があったとの考えも排除し得ないのである。

#### 〔－〇〇〕型

【宗哲】仏教 神道 【宗応】良心 現世 木像 五官 悪念 悪業 寓言  
瑞相 楽譜 故郷 落涙 誘引 精進 自滅 独学 【人官】化身 賢者  
皇族 学者 老人 学士 聖人 宰相 神仙 【政法】政権 民法 刑法  
軍律 行政 立法 虐政 参議 県令 除籍 国法 法式 【政応】黙許  
腕力 全権 与論 【堂処】薬舗 【年歴】建国

結局、次の〔－〇〇〕型のように〔－〇〇〕型とともに現代通用語形となっているものを合わせると〔－〕型の8割近くに上るありさまを見れば、『英語節用集』の収めたこれらの漢字表記語が『訂訳大全英和辞書』『漢語英訳辞典』の扱いをよそに後代良く生き残ったものであることが分かるのである。

#### 〔－〇〕型

【宗哲】秘教 【宗応】涅槃 常住 自覚 自利 利他 虚霊 【人官】仏陀 演者 【政応】大本 自制 自責 自決 【堂処】仏堂

現代通用辞書『岩波国語辞典』に立項されない〔－〇－〕・〔－――〕型というのは、次のように少数にすぎない。

#### 〔－〇－〕型

【宗応】覚他 【政法】政法

#### 〔－――〕型

【宗応】寺法 瑞夢 【人官】仏弟 【政法】天権 徳権 法権 純権 大輔 少輔 知府 用式 廃式 性法 【政応】明許 通理

いま、『岩波国語辞典』の立項・不立項でまとめて見れば次の表3となる。

表3から分かるように、現代通用辞書に収載される〔\* \* 〇〕型は合わせて412項目と全体の86.4%にも上っており、第二次英学書ブーム期において小規模辞書の『英語節用集』が収載した漢字表記語は、編者が「誤謬アラハ幸ニ教示ヲ賜ヘ他日之レヲ改正補刪スヘキ也」と謙遜するほどに世間に普及しないものを無理に採用したということにはならなかったようである。

表 3

	『英語節用集』 所収部名	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	各型 小計	各型内構成 比率 (%)	全体内構成 比率 (%)
「岩波国語辞典 第7版」で 〔○〕型	〔○○〕型	0	5	108	16	11	19	6	5	170	41.3%	35.6%
	同上型内比率 (%)	0.0%	2.9%	63.5%	9.4%	6.5%	11.2%	3.5%	2.9%			
	〔○-○〕型	0	2	14	3	0	4	0	0	23	5.6%	4.8%
	同上型内比率 (%)	0.0%	8.7%	60.9%	13.0%	0.0%	17.4%	0.0%	0.0%			
	〔△○○〕型	0	1	59	21	15	25	3	4	128	31.1%	26.8%
	同上型内比率 (%)	0.0%	0.8%	46.1%	16.4%	11.7%	19.5%	2.3%	3.1%			
	〔△-○〕型	0	0	17	7	2	6	1	0	33	8.0%	6.9%
	同上型内比率 (%)	0.0%	0.0%	51.5%	21.2%	6.1%	18.2%	3.0%	0.0%			
	〔-○○〕型	2	0	15	9	12	4	1	1	44	10.7%	9.2%
	同上型内比率 (%)	4.5%	0.0%	34.1%	20.5%	27.3%	9.1%	2.3%	2.3%			
「岩波国語辞典 第7版」で 〔-〕型	〔--○〕型	1	0	6	2	0	4	1	0	14	3.4%	2.9%
	同上型内比率 (%)	7.1%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	28.6%	7.1%	0.0%			
	〔* * ○〕型小計	3	8	219	58	40	62	12	10	412	100.0%	86.4%
	同上型内比率 (%)	0.7%	1.9%	53.2%	14.1%	9.7%	15.0%	2.9%	2.4%			
	〔○○-〕型	0	0	6	0	0	2	0	0	8	12.3%	1.7%
	同上型内比率 (%)	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%			
	〔○--〕型	0	0	5	1	0	4	0	0	10	15.4%	2.1%
	同上型内比率 (%)	0.0%	0.0%	50.0%	10.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%			
	〔△○-〕型	0	0	4	0	2	1	0	0	7	10.8%	1.5%
	同上型内比率 (%)	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%			
「岩波国語辞典 第7版」で 〔- -〕型	〔△--〕型	0	0	13	5	2	1	2	0	23	35.4%	4.8%
	同上型内比率 (%)	0.0%	0.0%	56.5%	21.7%	8.7%	4.3%	8.7%	0.0%			
	〔-○-〕型	0	0	1	0	1	0	0	0	2	3.1%	0.4%
	同上型内比率 (%)	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	〔---〕型	0	0	2	1	10	2	0	0	15	23.1%	3.1%
	同上型内比率 (%)	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%	66.7%	13.3%	0.0%	0.0%			
	〔* * -〕型小計	0	0	31	7	15	10	2	0	65	100.0%	13.6%
	同上型内比率 (%)	0.0%	0.0%	47.7%	10.8%	23.1%	15.4%	3.1%	0.0%			
	全体合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477	—	100.0%

しかしながら一方で、〔\* \* -〕型が65項目13.6%と全く少数と見るわけにはいかない事情も、当代の対訳辞書世界で定着に向けて歩んでいる訳語の選別・収斂過程を示すものとして看過はできないのである。



## まとめ

以上、第二次英学書ブーム期の対訳辞書資料『訂訳大全英和辞書』についてその収載訳語の内容を同時期の『英語節用集』、また後年の集成的大型辞書『漢語英訳辞典』といった周辺資料とともに見てきた。

明治10年代後半期の対訳辞書世界には大型化・高度化する汎用辞書の流れの一方で、安価なポータブル辞書の刊行の流れもまた購読者需要の多様化に従って見られる。大衆に普及して行く時流を確実に後者が担っていたものと考えれば、そこに掲載される訳語が果たしてどのような性格のものであったか、どのように定着を見、あるいは消えて行ったのか、その過程を具に検証することが今後さらに追求されるべき課題である。

さらにこれまで見過ごされていた小規模対訳辞書資料の一群に目を向けながら、現代日本語語彙の形成において大きな役割を果たした近代明治期の語彙動向を吟味して行きたいと思う。

◎本稿は、平成23～25年度科学研究費補助金基盤研究（C）：研究課題「福岡に残る洋学資料コレクション筑紫文庫資料を主対象とした近代日本語語彙の基盤研究」を活かした成果の一部である。

## 【注】

注1 屋名池（1991）によれば、安政6年から明治6年までが第一次英学書ブーム期であり、明治15年以降が第二次英学書ブーム期であるとされる。

注2 坂本（2006A）ほか一連の論稿を参照されたい。

注3 国会本（A）・（B）・（C）の内題頁にはすべて「発兌」欄に日報社と誠之堂が並び挙げられるが、（A）奥付の「発兌」欄には日報社のみ、（B）奥付には「発兌」欄そのものが無い。この間の事情については不明である。

注4 『英語節用集』については、大阪府立大学（旧大阪女子大学）蔵本を使用しており、辞書本編部分の全体構成は次のとおりである。※（ ）内は略称。

宗教及哲学論派名称（「宗哲」）	135項目	学術名称（「學術」）	61項目
宗教家応用語（「宗応」）	284項目	人品及官位（「人官」）	160項目
政治及法制（「政法」）	123項目	政治家応用語（「政応」）	93項目
堂屋及処名（「堂処」）	40項目	年代及歴史（「年歴」）	18項目

上記のように全8部構成・合計914項目が立項収載され、他に巻末付録として「各国政体及宗教」が加えられる。なお、漢英対訳辞書資料類や国語辞書資料については当該

漢字表記語が立項されている場合を「○」、不立項の場合を「-」で示している。

注5 明治期各辞書資料の調査利用対象等については以下の要領。

- ・『英和掌中字典』：国立国会図書館近代デジタルライブラリー公開の画像資料を使用。明治6年刊行。
- ・『華英字典』：永峰秀樹訓訳『華英字典』。中身は英語見出しによる英和対訳辞書。九州大学筑紫文庫収蔵本を使用。明治14年刊行。
- ・『英和袖珍字彙』：国立国会図書館近代デジタルライブラリー公開の画像資料を使用。明治17年刊行。
- ・『新撰初学英和辞書』：国立国会図書館近代デジタルライブラリー公開の画像資料を使用。明治18年刊行。
- ・『写真石版附音挿図英和字彙』：家蔵本を使用。明治18年刊行（『附音挿図英和字彙』初版の縮刷写真版に相当するもの）。
- ・『英和小字彙』：国立国会図書館近代デジタルライブラリー公開の画像資料を使用。明治20年刊行。
- ・『漢英対照いろは辞典』：『明治期国語辞書大系〔巻2〕漢英対照いろは辞典』（1997 大空社 飛田良文ほか編）を使用。明治21年刊行。
- ・『漢語英訳辞典』：九州大学筑紫文庫収蔵本を使用。明治22～25年刊行。

注6 「（当該二字漢字表記語）／（当該英語見出し項目語形）」の形式で示す。なお、〔○〕型には「〔（『訂訳大全英和辞書』訳語句内掲出順序）／（『訂訳大全英和辞書』訳語句総数）〕」として当該語形の掲出順を併せて記した。また、「←」の箇所は、『英語節用集』において英字綴り誤用等と稿者が判断したもので「（修正すべきと思われる綴り表記）←（誤りと思われる綴り表記）」の要領で示している。英字見出し語形に①②とあるものは『英語節用集』において重複立項された場合で先に提出されたものが①表示となっている。以下の語彙リストにおける配列順序は『英語節用集』での出現順に沿ったものである。

注7 以下の類型表示は、『訂訳大全英和辞書』における類型、『漢語英訳辞典』見出し語としての立項の有無、『岩波国語辞典 第7版』における見出し語としての立項の有無を表しており、例えば〔○-○〕型は『訂訳大全英和辞書』で〔○〕型、『漢語英訳辞典』で「立項なし」、『岩波国語辞典 第7版』で「立項あり」、であることを示すものである。なお本稿では以下特に断らない限り『岩波国語辞典 第7版』を指して『岩波国語辞典』と称することとする。

### 【引用・参考文献】

- 坂本浩一（2000）：明治期対訳辞書と漢語辞書をめぐり一考察 ―『漢語英訳辞典』を中心に―（『香椎湯』46号）
- 坂本浩一（2006A）：『英語節用集』をめぐって ―周辺主要辞書との所収部別対照調査報告―（国語語彙史研究会編 和泉書院刊『国語語彙史の研究 二十五』所収）
- 坂本浩一（2006B）：明治期日欧言語交流史の一研究 ―『英語節用集』所収二字漢字表記

語の『漢英対照いろは辞典』および『漢語英訳辞典』における収載状況をめぐって——  
（『香椎潟』52号）

坂本浩一（2007）：明治期日欧言語交流史の一研究 ——『英語節用集』所収二字漢字表記  
語の『漢語英訳辞典』における収載状況をめぐって——（『文藝と思想』71号）

坂本浩一（2008）：明治期日欧言語交流史の一研究 ——『英語節用集』所収二字漢字表記  
語の『写真石版附音挿図英和字彙』における収載状況をめぐって——（『文藝と思想』  
72号）

坂本浩一（2009）：明治時代第二次英学書ブーム期における対訳辞書資料の一検討 ——『英  
語節用集』所載訳語の『訂増英華字典』における収載状況を中心とする周辺対訳辞書  
資料数種を交えた語彙調査分析 ——（『香椎潟』55号）

坂本浩一（2010）：明治期日欧言語交流史の一研究 ——『英語節用集』所収二字漢字表記  
語の永峰秀樹訳『華英字典』における収載状況をめぐって——（『文藝と思想』74号）

坂本浩一（2012）：明治期日欧言語交流史の一研究 ——『英語節用集』所収二字漢字表記  
語の『新撰初学英和辞書』における収載状況をめぐって——（『香椎潟』56・57合併号）

坂本浩一（2013）：明治期日欧言語交流史の一研究 ——青木輔清編『英和掌中字典』の訳  
語収載状況をめぐって——（『文藝と思想』77号）

坂本浩一（2014）：明治期日欧言語交流史の一研究 ——中村国太郎編『寸珍和英字彙』の  
訳語収載状況をめぐって——（『文藝と思想』78号）

坂本浩一（2015）：明治期日欧言語交流史の一研究 ——西山義行編『英和袖珍字彙』にお  
ける訳語収載状況をめぐって——（『文藝と思想』79号）

鈴木丹士郎（1981）：「抵抗」と「抗抵」『国語語彙史の研究』二（1981 和泉書院）

豊田 実（1963）：『日本英学史の研究』新訂初版 千城書房

原口 裕（1991）：大阪女子大学附属図書館編『大阪女子大学蔵蘭学英学資料選』第2章  
「単語集・会話集」

飛田良文（2007）：『日本語学研究事典』（2007 明治書院）「英華・華英事典」項

森岡健二（1969）：『近代語の成立 明治期語彙編』明治書院

屋名池誠（1991）：大阪女子大学附属図書館編『大阪女子大学蔵蘭学英学資料選』第1章  
「綴字書・運筆書・横文字紹介書」